

事業所名

あおぞらきつずカメラア通りR33

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8 年

5 月

1 日

法人（事業所）理念	みんな しあわせ 私たちは障害のあるなしに関わらず、その子、その人、そして私たちが地域の中でいきいきといきいきと暮らしていくことのできる心豊かな社会を育てていきます。心を一つにして。				
支援方針	個別療育で個々への支援を実施し、集団支援で社会性やコミュニケーションを学ぶ場を提供します。また、ご家族への相談援助や、関係機関との連携を実施し、保活的な支援を行えるように努めます。				
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気付けるよう、観察を行います。 ・来所時の身辺処理（靴の用意や着脱、荷物の整理、提出物の管理など）を利用者さまに合わせ実施し、習慣化できるよう支援します。 ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に着けられる様決まった時間での誘導と支援を行います。 ・一日の流れや、イベントの説明などは視覚支援を用いるなど、利用者様のわかりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことができるよう支援します。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動にて、運動やダンスなど体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図ります。 ・集団活動や創作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、様々な体験を提供し支援します。 ・日常生活の必要な操作の基本となる姿勢保持や、運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行います。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・色や数字、物品など様々な概念獲得に向け、利用者様の特性や能力を観察し、課題の提供を行います。 ・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことで拘りや忌避感を軽減できるよう支援します。 ・利用者様が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごすことができるよう支援します。 ・集団活動や制作活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることができるように支援します。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図れるよう支援します。 ・インリアルアプローチを基本とし、コミュニケーションの経験を積むことができるようし支援します。 ・絵カードやサイン（その他教材）などを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 ・集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・思いに寄り添った言葉がけに努め、職員と利用者様の良好な関係づくりを図ります。 ・職員がモデルケースとなり、他者交流の経験を積むことができるよう支援します。 ・集団活動を通して、ルールや順番を守ることや、強調した関りを持つよう支援します。 ・他者との適正な距離感を把握できるように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係作りを支援します。 			
家族支援	連絡ノート、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必用に応じて面談や、参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。	移行支援		学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。	
地域支援・地域連携	地域のイベントの参加や、地域の社会資源の外出などを通し、地域との交流の機会を提供し支援します。	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な青空全体会議実施 ・定期的な責任者会議実施 ・年間スケジュール（月1回）の参加と業務内での資質向上のための研修参加の推進 ・資格取得のための研修参加の推進 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・お誕生日会 ・休日、長期休暇の屋外活動、地域交流、買物練習、調理、お菓子作り ・季節のイベント ・父母の会（年間2回程度） 				